

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 嶋 津 孝 久
幹事 野 村 紀 代 彦
会報委員長 横 山 宜 幸

2012～2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2785回例会プログラム

[当年度=19回目；当月=1週目]

2012年（平成24年）12月3日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食 事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(12/10) ……クラブ総会
次年度理事・役員選出
(12/20) ……クリスマス家族会
(親睦活動委員会)
18:00～名古屋観光ホテル
※12月17日(月)の例会変更分です。

2. クラブフォーラム……………〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話 「ロータリー財団未来の夢計画について」
講師 地区ロータリー財団資金推進委員会
委員長 朱宮 新治 様 (犬山RC)
(紹介者 伊藤 節夫 会員)

15. 謝 辞
16. 点 鐘……〈会 長〉
17. 閉会宣言
13:30 18. 散 会

ビ ジ タ ー

知立 RC 杉浦 知博 様

出 席

会員総数 92名 出席免除 28名
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名
欠席 9名 出席率 89.41%
前々回 (11/19) の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 千田ガバナーよりサクセスジャパン作戦ご協力
のお願いがきています。日本のロータリークラブ全体
で取り組む会員増強の事業です。入会候補者推薦状
を各自のメールボックスに入れておきますので、3
月末を目処に、事務局まで提出をお願いします。も
ちろん強制ではありません。
- 2) 同じく千田ガバナーより東日本大震災復興に関す
る「被災住民に安全なおいしい水を提供する」プロ
ジェクトへの協力依頼が来ています。ニコボックス
を回しますのでお1人千円程度のご協力をお願いし
ます。

幹 事 報 告

- 1) 本日、例会終了後に第2回次期理事役員候補者指
名委員会が行われますので、関係の方は特別会議室
にお集り下さい。

会長あいさつ

週刊誌の話

嶋津 孝久



今年度上半期の総合週刊誌の平均販売部数を見ますと、第1位は週刊文春でした。これは17期連続です。とは言っても前期比2.39%で活字離れは相変わらず進んでいるようです。

参考までにベスト10は

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 週刊文春 | 46万5983部 |
| 2. 週刊現代 | 38万1984部 |
| 3. 週刊新潮 | 35万6623部 |
| 4. 週刊ポスト | 28万4755部 |
| 5. 週刊大衆 | 14万5782部 |
| 6. 週刊朝日 | 13万1452部 |
| 7. 週刊アサヒ芸能 | 10万9069部 |
| 8. AERA | 8万0618部 |
| 9. サンデー毎日 | 7万3072部 |
| 10. ニュースウィーク日本版 | 3万9457部 |

となっております。

参考までに、我々の青春時代の思い出の「週刊プレイボーイ」は12万5774部です。

長く50万部を維持していた「文芸春秋」は35万2582部だそうです。

実は日本で最大の販売部数を誇る週刊誌がありますが、ご存知でしょうか？ それは、「週刊少年ジャンプ」です。2005年の3・4号で653万部というギネスブックにも載った記録をピークに、年々減り続けていますが、それでも今年度は280万部台を維持しております。

ただ、音楽が若者の間で、携帯電話やスマホにダウンロードされるようになって、CD等も売れなくなってきました。また、同じように今後は、紙媒体から電子書籍の時代になって、紙の雑誌としての販売は激減する時代が来るのかもしれない。

古希のお祝い



杉山 欣輝 会員

還暦のお祝い



加藤 繁則 会員

お祝い

12月の会員の誕生日…杉山欣輝、杉浦世志朗、酒部正博、加藤繁則会員。

配偶者の誕生日…鈴木裕子（孝平）、盛田俊子（豊一）、権田偉登子（銀弘）、鈴木千春（豊）、吉原梅世（孝彦）様。

結婚記念日…小林祥浩、大竹憲治、岡邦彦、久米博明会員。

12月度入会記念日…池田憲司、内藤耕造、竹内一郎、久米博明、小川耕示、角谷広高、霜出俱弘、深谷嘉英、白坂修二会員。

クラブフォーラム

卓話「ロータリー財団未来の夢計画について」 地区ロータリー財団資金推進委員会 委員長 朱宮 新治 様



嶋津会長のもと充実された活動を行われておられる刈谷 RC に財団月間に添い地区財団委員会からお邪魔する機会を得まして感謝申し上げます。本日は例会の貴重な時間を財団の為に与えてくださり感謝申し上げます。さて1917年の R 財団創立以来、財団ではプログラムの増加に伴い、その種類も多様な物となり需要が高まっています。そして最近、特に多大な成果をもたらす、持続可能なプロジェクトをロータリアンが実施出来るようもっと効果的な方法を打ち出す必要が出てきました。そこで R 財団管理委員会によって2005年に承認された「未来の夢計画」は補助金手続きを簡単にして増え続けるロータリアンの需要に応え、財団の効率を高めることを目的に形つくられました。未来の夢計画を立案する中で、財団管理委員会は、財団の意義ある活動がよりよく伝わるよう、この計画の土台となる財団の使命を書き改めました。そして今年度3年間のパイロット地区としての試験期間が終わり、次年度から世界中で「未来の夢計画」が始まります。

未来の夢計画の一番の目的は、ロータリアンによるプロジェクトの成果を更に広げることです。また補助金活

動の焦点を絞ることも目的の1つです。またロータリアンによる活動の代表的な種類を反映した、6つの重点分野においてプロジェクトを実施することも出来ます。

- ・重点分野 1. 平和と紛争予防／紛争解決
- 2. 疾病予防と治療
- 3. 水と衛生設備
- 4. 母子の健康
- 5. 基本的教育と識字率向上
- 6. 経済と地域社会の発展

未来の夢のもう1つの目的は補助金に関する決定権をクラブと地区にさらに移動することです。新地区補助金は財団の使命に関連し、ロータリアンが提唱する小規模で短期間のプロジェクトに、地区に一括して支給されます。地元のニーズに迅速に取り組める柔軟性をそなえたこの補助金は地元や海外の人的、職業的、教育的活動にも利用出来ます。また補助金プロジェクトは地区が管理いたします。グローバル補助金は規模が大きく、持続可能で大きな成果をもたらす、重点分野のいずれかに該当するプロジェクトに対して財団から上乘せ補助金を提供するものです。地区は利用可能なDDFに基づきプロジェクトに拠出する金額を決定しています。更に未来の夢のもう1つの重要な目的に、補助金手続きの簡素化があります。活動に適した補助金を選びやすくなり、手続きも迅速に行われ申請から支給までの時間が短縮されます。また地区活動資金 (District Designated Fund) DDFには2つの活用方法が用意されています。1つは新地区補助金ともう1つはグローバル補助金です。

- ・グローバル補助金—グローバル補助金は、財団の使命に関連するいわゆる6重点分野に該当しなくてはなりません。グローバル補助金で支援できるプロジェクトや活動の例をみてみますと、2つの国のクラブや地区が協力し、安全な飲み水、衛生設備、衛生教育を提供するプロジェクトが実施できます。グローバル補助金で、財政面、研修面、プロジェクト後のメンテナンスといった面で、他の非政府組織と交渉し支援を得ることも出来ます。地区は識字教育の修士号を目指して留学する奨学生の派遣、或いは奨学金の一部を実施研修に当てることも出来ます。またグローバル補助金で出発前と留学中の奨学生の費用を賄うことも出来ます。
- ・新地区補助金—この補助金は一括して地区に支給され、地区財団活動資金の50%まで利用することが出来ます。例えば海外のクリニックでボランティアを行う、地元の医師の渡航費用をクラブが援助する。或いは複数のクラブが合同で自然災害にあった海外の被災地にシェルターボックスを贈るなど様々な活動が考えられます。ところで当地区は今年度59クラブに155,390ドルの新地区補助金が支給されることになりました。グローバル補助金の利用については、重点6分野の中から、疾病予防と治療をテーマに、現在職業研修チーム派遣 (VTT) がアメリカに決まり準備中です。
- ・試験地区、地区内のクラブが出来ること—試験段階中、世界から100地区が新しい補助金を利用し、その効果や問題点についてフィードバックを提供します。

これを基に財団は新しい補助金が地区に導入される2013/7までプロセスに改善を重ねていきます。試験地区内のクラブも同様に重要な役割を果たします。クラブは参加条件を満たすための管理体制を整え、DDFの配分に当たって地区を助け、新しい財団の補助金を利用し、未来の夢に関するフィードバックを提供します。R財団は過去30年間に飛躍的成長をとげ、多大な成果を残してきました。財団を前進させる未来の夢計画は、世界で良いことをしようという使命を達成するために財団のレソースを最大限に生かすことを目指しています。そしてクラブと地区のご支援のもと、このビジョンを実施することが出来るのです。各クラブにおかれましては補助金を利用した事業を計画されておられるようですが、これからも是非引き続き財団の活動にご理解とご協力をお願いいたします。またロータリーカードの発券と利用促進に田中作次RI会長は強く唱えられておられますので、是非ご理解頂き併せてご協力お願い致します。